

江東区

昔と今

有明



有明1・2付近 有明の小判騒動（江東区政策経営部広報広聴課 所蔵）

昭和39年（1964）3月、現在の首都高速湾岸線が通っている埋め立て地（有明2・有明コロシウム辺り）の海岸で慶長小判が発見されました。

初めに小判を見つけたのは近所の中学生で、ニュースを聞いた大勢の人々が連日小判探しに押し寄せ、最終的に40枚近く見つかりました。

その後、有明の埋め立てが進み、有明テニスの森公園・コロシウム、東京ビッグサイトなどが建設され、今では臨海副都心の一面をなす地域に変貌を遂げています。



平成25年当時の有明



現在の有明